

教えて!

市川組合長

JAの自己改革について学び
地域農業を応援しよう



市川 耕一
代表理事組合長

組合員との対話

JAあいち尾東では、広報誌や正組合員訪問、意見交換など様々な活動・媒体を通じて組合員の皆さまから意見・要望をいただいております。いただいた意見を基に、今後の具体的な方針を決定し、事業計画へ反映させ実践しています。

今回はいただいた意見を一部抜粋して、ご紹介します。

寄せられた意見・要望

Q 高温障害等によりくず米が増えたと感じる。今後の対応を教えてください。

A 令和7年産の作付けは、従来の「ゆめまつり」に代わり、「あいちのこころ」で作付けをすすめています。「あいちのこころ」は、長久手市にある愛知県農業総合試験場が愛知県経済農業協同組合連合会と共同で開発した品種で、高温耐性があり、白未熟粒が生じにくいいため玄米の外観品質が優れています。今年9月中下旬から収穫を開始し、10月に当JAの産直施設等で販売を開始する予定ですので、ぜひご期待ください。

また、近年イネカメムシなど水田のカメムシ被害による反収減少も問題になっています。当JAでは、出穂期の農薬散布でイネカメムシの被害を抑えるよう案内をしています。9月末まで農薬助成キャンペーンも行っておりますので、詳しくは広報誌6月号をご覧ください。各営農センターまたはグリーンセンターまでお問い合わせください。



広報誌6月号
はこちらから



Q 組合員との対話・訪問はどのように行っているのか。

A 組合員との対話・訪問については、支店窓口や渉外担当者の訪問時、出向く営農担当者が圃場等を訪問する際など、さまざまな場面で行っています。対面・非対面問わず、組合員の皆様と接するあらゆる場を対話の機会とし、自己改革の実践に向けた評価・意見・要望を頂いています。広報誌に寄せられるご意見等も貴重な対話の機会となっておりますので、ページ下部にあるQRコードから、ぜひご意見をお寄せください。



たくさんのご意見・ご要望をよろしくお願いいたします

各支店・店舗・センターにご意見箱とアンケート用紙を設置しています。
なお、ぐりんぐらざのクロスワードパズル応募はがきのご意見箱からもご応募いただけます。
ご意見箱からいただいたクロスワードパズル応募はがきの応募者は当選率アップ!!
皆様からの貴重なご意見・ご要望をたくさんお待ちしております。

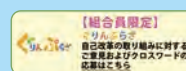


く見こ
だつの
さけ箱
いてを
!

JAあいち尾東の自己改革に対する
ご意見をお待ちしております。



<https://www.jaab.or.jp>



◀ このボタンを
クリック